

なの・わり 活動報告



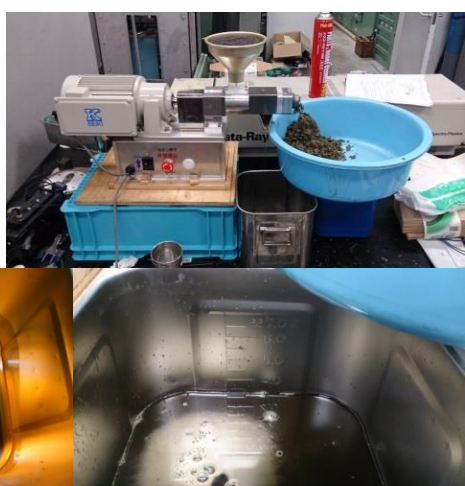
わたし達の団体は、植物を使った「資源循環型社会」の形成や、授業・イベントを通じた環境やエネルギーについての理解の向上を目的として、滋賀県立大学の工学部の「エネルギーと動力」研究室の学部四回生十人、大学院生七人の合計十七人で活動を行っています。昨年までは「菜の花エネルギー」という名で活動を行っていましたが、今年度からひまわりの栽培も行うことになり、「フラワーエネルギーなの・わり」と団体名を変更しました。

まずは今年度の畑の活動について報告します。上の写真は三月



十七日の段階の休耕田の写真で、下は四月十六日の写真です。一か月余りで一面の菜の花畑となりました。今年度は雑草対策がみどり、昨年度よりも豊作となりました。

菜の花から取れた種は搾油器で压榨され、油が採れます。絞ったばかりの油は茶色く濁っていますが、これを水洗し、汚れを取る作業を数回行います。その後、濾過を行い食用可能な綺麗な菜種油が完成します。



今年度から菜の花を刈り取り後の畑を利用して、ひまわりの栽培も始めました。ひまわりの種からも菜種と同じように油をとることが出来ます。大学の中庭でも畑を作り、菜の花・ひまわりの二期作を行っています。上の写真は休耕田にひまわりの種を蒔いている様子で、下の写真は学内の畑を耕している写真です。



学内の畑はひまわり一本ごとに支持棒を立てたので、綺麗に育てることができました。今後、ひまわりの種取りを行い、菜種と同じように搾油作業を行っていく予定です。搾油された油は燃料としてトラクターで使用されます。



最後になりましたが、休耕田をお貸しくださいっている吉島さんをはじめ、耕耘・刈り取りの作業をお手伝いしてくださった地域の農家の方々に厚くお礼申し上げます。

菜の花エコフェスタ出展

東近江市で行われた菜の花エコフェスタに参加しました。手のひら発電体験や、バイオディーゼルの展示などを行い、来場者の方にエネルギー問題について知っていただきました。



小学校出前授業

今年度は、若葉小学校、平田小学校、稲枝西小学校で出前授業を行い、合計96人の生徒に授業を行いました。バイオディーゼルの劇を行い、また手のひら発電の実験などを行いました。授業後のアンケートでは、劇について好評だった反面、もっと実験をしたいという声が多くあり、今後は実験内容を増やしていきたいと思えます。

(左下写真 6月18日付の中日新聞滋賀版にて、平田小学校出前授業の様子を掲載していただきました。)



高大連携授業

大学に虎姫高校の生徒を招き、バイオ燃料の作成実験やカーターの試乗体験などを行っています。実際に自分たちが作った燃料でカーターを走らせることで、バイオ燃料を身近に感じてもらえたと思っています。



ひまわりBDFプロジェクト参加

近江ひまわりプロジェクトでは、東日本大震災の被災地である宮城県鹿折市から譲り受けたひまわりの種を滋賀県で広める活動を行っています。今年度からひまわりの種を燃料として有効利用する、ひまわりBDFプロジェクトが始まりました。

このプロジェクトでは、大津市比良町でひまわりを栽培し、取れた種から作成したバイオ燃料はトラクターに利用します。このトラクターを利用し、栽培した米を被災地に還元する予定です。

なの・わりでは、このプロジェクトの農作業、搾油作業で協力しています。



大学の学園祭に出展

なの・わりでは、毎年大学の学園祭で天ぷらの無料試食、自転車発電体験、手のひら発電体験を行っています。天ぷらに使用する油は、自分たちで作成したものを使用しています。



「なの・わり」ブログ更新中

広報活動を積極的に行うことができていなかったため、以前行っていた活動ブログを、今年から再び開始しました。(なの・わりで検索すると出てきます) また、研究室のメンバーだけでなく、他の学部も活動に参加してもらうよう呼びかけを行っています。

